

東日本大震災 岩手県大槌中学校吹奏楽部支援 実施報告

下記の通り、実施いたしましたので報告いたします。

- 1.日 時 2011年11月12日(土) 13:45~18:00
- 2.会 場 大槌中学校仮設校舎 (岩手県下閉伊郡大槌町小槌22番地割 / 町営ふれあい運動公園)
- 3.演奏者 吉川武典 (NHK交響楽団トロンボーン奏者)
竹森かほり (元東京シティ・フィルハーモニック団員、東京都立芸術高校非常勤講師)
竹森耕平 (ドラム奏者、avexスタジオマネージャー)
- 4.同行者 竹森道夫 (NPO日本の道)、矢島弘一、岩瀬憲司 (劇団「東京マハロ」 楽器運送)
- 5.内 容 3回目の楽器寄贈 / ミニ・コンサート / クリニック
- 6.対象者 大槌中学校吹奏楽部員 (1・2年生)、同OB (3年生)、大槌高校吹奏楽部員
大槌中学校プラスバンドスポーツ少年団 父母のみなさん 計 約40名

《実施にいたる経緯》

丸谷博男を中心とする NPO「日本の道」は、復興の街づくりとエコ住宅建設のアドバイザー、「お風呂ユニット(複数のバス、シャワー、トイレの大型コンテナ)」寄贈などの支援活動を行っています。その中で岩手県・大槌町の中学が楽器の補充できないでいることを知り、釜石と仙台出身のジャズメンなどによる数回の「チャリティー・コンサート」と、プロの音楽家に楽器提供を呼びかけ17の楽器を寄贈してきました。

かねてから「愛器を提供した音楽家による指導」を学校関係者と話し合ってきましたが、震災から8ヶ月目の今回、ようやく実現の運びとなりました(被災で中止になった学校行事が、すべて復活したため)。

第1回楽器寄贈 6月18日

トランペット 2本	5月7日「日本の道チャリティージャズライブ」募金で購入
トロンボーン 2本	5月7日「日本の道チャリティージャズライブ」募金で購入
トロンボーン 1本	吉川武典 (NHK交響楽団トロンボーン奏者)寄贈
トロンボーン 2本	小田桐寛之 (東京都交響楽団首席トロンボーン奏者)寄贈
ホルン1本	松澤 泉 (東京シティ・フィルハーモニック管弦楽団チェロ奏者) 寄贈
フルート2本	竹森かほり (東京都立芸術高校非常勤講師) 寄贈
クラリネット 3本	竹森かほり寄贈

第2回楽器寄贈 8月8日 ユーフォonium 2本、大太鼓 1

東京練馬区の合唱団「コーロ・まぎーぐうす」と武蔵村山市音楽連盟のチャリティー・コンサート募金で購入
今回の寄贈楽器

クラリネット 2本	三倉麻実 (武蔵野音楽大学講師)
トランペット 1本	中里奈月 (東京都立芸術高校非常勤講師)
バス・トロンボーン 1本	小田桐寛之 (東京都交響楽団首席奏者)
ドラム・セット 1組	竹森耕平 (avex prime sound studio ドラム奏者)

《ミニ・コンサートとクリニック》

1. ミニ・コンサート
13:45—14:10
「ア・ソング・フォー・ジャパン(日本に捧げる歌)」 フェルヘルスト作曲
「あなたが欲しい」 エリック・サティ作曲
演奏=吉川武典(トロンボーン) 竹森かほり(ピアノ)
- ※ 「ア・ソング・フォー・ジャパン」は、ベルギーの作曲家フェルヘルストが日本の震災を知った直後に作曲。インターネット上で「世界中の音楽家が、この曲を演奏し日本にエールを送ろう」を呼びかけた作品。演奏・編曲など全ての著作権はフリー。
2. クリニック
14:20---18:00
木管楽器、金管楽器、打楽器の3グループに分かれ、3時間半に渡る指導を行いました。三年生が引退し、1・2年生の飛躍的成長が望まれる時です。12月下旬には全日本アンサンブルコンテストに参加予定。

以下、〈吹奏楽部顧問〉と、父母のグループ〈大槌中プラスバンドスポーツ少年団〉のメールを紹介します。

今日は本当にありがとうございました。沢山のお心遣いに感激しました。生徒達もとても喜んでいました。素敵なつながりを作ってくださったことにも感謝しています。夕食の店は見つかりましたか？ 釜石も少しずつ店が増えてきました。ゆっくりしてってください。大槌中 伊藤恵利子

NPO「日本の道」 竹森 様
先日は、遠いところお越しいただき大変ありがとうございました。
また素晴らしい演奏をお聞かせいただいた奥様とN響の吉川様には「本物の生の音」を子供たちにプレゼントいただいたと感じております。楽器の運搬をいただいた矢島様にも遠路本当に感謝しております。そして耕平様にはプロの技と初心者用のアドバイスなどわかりやすくご指導いただきました。本当に貴重な体験となりました。

見ての通りの田舎の中学生ですが、素直で純粋な子供たちです。うまく気持ちを伝えることが苦手ですが、子供たちなりに何かを感じてくれたと確信しております。家を流され仮設住宅から通学している子供が大勢います。耕平さんからご指導いただいたパーカスの子にはご両親を亡くされた子もおります。その子供たちがキラキラとした真剣な眼差しで聞き入り、また笑顔で楽しそうにしているのを拝見しますと、皆様のご支援の影響力は大きなものであると感じたところでございました。

我々地元の関係者や、学校の先生方自身も被災しており、自分の家庭のことでも手一杯な状況であり、部活動を維持することだけで精一杯の状態でした。皆様の暖かいご支援により、大中吹奏楽部は一步も二歩も前に進んだように思います。東北地方沿岸部の広い被災地の中で、大槌中学校吹奏楽部に目を向けていただきましたこと。心暖まる励ましのお言葉と多くの楽器のご寄付、更には今回の音楽のプロによるご指導とご支援いただきましたこと。心より厚く御礼申し上げます。

NPO「日本の道」代表の丸谷様をはじめご支援いただきました皆様に感謝を申し上げますとともに、今後皆様方のますますのご活躍をご祈念申し上げます。

岩手県大槌町 大槌中プラスバンドスポーツ少年団

代表 臺 隆明

《大槌町訪問を終えて》

私にとって、7月の吹奏楽コンクール地区大会と10月の定期演奏会に続く、三度目の大槌でした。初めて大槌を訪れた他の五人が、口にしたのは「体中のエネルギーを奪い取られる気がする・・・」。戦争の跡の様な光景と、ひたすら無音。

広大な岩手県は、新幹線や東北自動車道を通じる内陸部と沿岸部は、ほぼ100キロ隔たっています。いまの大槌には、息をのむほど美しい山々の紅葉や海岸線と、残酷なコントラストをなす現実があります。差し伸べられている支援は極めて薄く、復興のスピードは、時間が止まっているようにすら感じられます。北側の山を越えた吉里吉里地区を除けば、店舗らしい店舗は、この8ヶ月間コンビニ1店だけでした。帰路についた正午過ぎ、打ち振られる「復興食堂」の旗が眼に飛び込んできました。テント張りながら、震災後初のレストランが盛岡のボランティアの手助けでオープンしたのです。

この町を支えているのは、東北人の我慢強さ、海に生きてきた人々のエネルギー、ひとや自然への限りない感謝の気持ちではないかと感じています。



海の香り漂う食材と、ポリューム !!

経費報告

項目	単価 (内訳)	数量	小計
新幹線	東京⇄新花巻 *乗車料金+往路=特別料金指定席 +復路=特別料金自由席	5	106,900
	吉川氏復路 釜石⇄南越谷 14,160 (JR 釜石線-新幹線-埼京線-武蔵野線)	1	14,160
レンタカー	32,000 新花巻--(釜石経由)--大館	2日	32,000
ガソリン代	135	20,78L	2,805
楽器運送費	ボランティアの申し出により		0
高速料金	首都高・池袋⇄東北自動車動・東和 「災害派遣等従事車両証明書」により免除		0
ホテル代	6,500	6	39,000
日当	3,000 (×2日×6名)	12	36,000
合計			230,865

*新幹線料金は、駅レンタカー〈レール&レンタカー〉割引料金

申請時の楽器運送者氏名の変更と移動方法の変更

木村 至 ⇒ 矢島弘一 復路のみ新幹線利用

岡本 彬 ⇒ 岩瀬憲司

《ミニ・コンサートとクリニック(11月12日)》



9月に完成した仮設校舎
半年振りに全校生徒が、
ひとつの校舎に集合!!
四つの小学校と一緒に。



東京からバンで
10時間。
待望のドラム・
セット到着!!



ミニ・コンサート

プロの音は
暖かく、力強い!!



金管グループの
レッスン
吉川武典先生
(NHK 交響楽団)

大量のリード、
タンポなどの消耗品、
メンテナンス・キット
をプレゼント



木管グループの
レッスン
竹森かほり先生
(都立芸術高校
非常勤講師)



打楽器グループの
レッスン
ドラムス習える
チャンスは
メッタにない
竹森耕平先生